

## 議員定数等調査特別委員長中間報告

議員定数等調査特別委員会は、議長から付託された議員定数及び報酬に関する調査・協議検討を行うため、会派を中心に委員が選出され、令和3年6月に10人の委員をもって設置されました。

特別委員会設置以降、これまでに9回の委員会を開催し、合併以降の本市議会の議員定数の変遷や議会改革推進特別委員会の報告、全国の類似団体の状況調査、市民アンケートなどを基に議論を行い、また、先日、全員協議会で協議経過の報告とそれに伴う質疑を行うなど、様々な角度から議員定数について検討を重ねてきました。

この中間報告は、これまでの議員間における討議を整理し、その現状を報告するものであります。

中山間地域における急激な人口減少、目まぐるしく変化する社会情勢、あわせて本市の厳しい財政状況を含めた現況を背景として、これまでの議会改革推進特別委員会からの報告をベースに、今回、新たに調査した全国の類似団体における議員定数等の各種資料やアンケートに多く寄せられた「市民の声」、さらに各委員の想いや会派の意見から、これからの委員会協議の「方向性」が見えてきた。

委員会の議論では、少数意見として、「広大な市域がある中で、地域の声を吸い上げ、市政に届けるためには多くの窓口があったほうが良い。」「議員定数を削減すれば有権者の多い、市の中心部に議員が偏る危険性が考えられる。」と現状の議員数を維持すべきとする意見がある。一方、多数意見は、全国の類似団体の議会が議員数を減じてきていること、市財政の硬直化等の課題、また、市民アンケートの結果等から、「議員定数を減ずるべき」としている。

本特別委員会は、この二つの意見を基に、これまでの様々な経緯と照らし合わせ委員間の討議を重ねたうえで、令和4年3月定例会に本市議会の然るべき議員定数と議員報酬に関して明確な考えを報告することをめざしていく。

最後に、今回初めて取り組んだ議員定数等に関するアンケートでは、議会活動、

議員活動に対する不満や指摘など、多くの厳しい意見も寄せられました。

我々はこのことを真摯に受け止め、引き続き努力を重ねていかなければならないと議員全体で共有しています。

改めて、アンケートに回答してくださった多くの方に感謝を申し上げ、本特別委員会の中間報告を終わります。